

レギュラトリーサイエンスと食品安全教育の現状と今後

-開催趣旨-

平成 30 年に食品衛生法が改正され、昨年 6 月には完全施行されました。食品添加物、残留農薬、容器包装などの規格基準も国際化等の影響を受け、常に見直し改正が行われています。新しい制度の適切な定着が望まれるとともに、食品衛生を取り巻く環境は今後も大きく変化することが見込まれます。このような変化に対して、行政および事業者では、食品安全に係る製造管理、衛生管理、品質管理、品質保証の実務に関わる分野において総合的に対応できる人材の確保・育成がより一層望まれていると思われます。

そこで今回、日本食品化学学会では、「レギュラトリーサイエンスと食品安全教育の現状と今後」をテーマとし、食品衛生に携わる人材育成ならびに食品の品質保証に関するシンポジウムを開催し、食品安全教育の現状と今後の課題を考えていく場といたします。

≪プログラム≫ (予定)

13:10~13:15 世話人挨拶 良永裕子 (麻布大学生命・環境科学部 教授)

シンポジウム 1 大学における食品衛生/科学教育の現場から

座長：良永裕子 (麻布大学)

13:15-13:45 講演① 工学部における食品安全のレギュラトリーサイエンス教育
東京農工大学 名誉教授 小関良宏

13:45-14:15 講演② 薬学部の食品安全教育のレギュラトリーサイエンス
国立研究機関から異動して見えてきた課題
星薬科大学薬学部 教授 穂山 浩

(14:15-14:25 休憩)

座長：穂山浩 (星薬科大学)

14:25-14:55 講演③ 農学部における食品衛生と食品安全教育
日本大学生物資源科学部 教授 松藤 寛

14:55-15:25 講演④ 大学教育における HACCP 研修から見たこと
麻布大学生命・環境科学部 准教授 小林直樹

15:25-15:40 総合討論 (司会：良永、穂山)

(15:40-15:55 休憩)

シンポジウム 2 食品の品質保証の現状と今後

座長：杉本直樹 (国立医薬品食品衛生研究所)

15:55-16:25 講演⑤ HACCP に沿った衛生管理の制度化について
厚生労働省医薬・生活衛生局 食品監視安全課 食品安全係長 大塚まこと

16:25-16:55 講演⑥ 機能性表示食品制度の現状について
消費者庁食品表示企画課 保健機能食品第二係長 正木陽子

16:55-17:00 閉会挨拶 合田幸広 (日本食品化学学会理事長、国立医薬品食品衛生研究所長)

○ 主 催：日本食品化学学会

○ 日 時：2022 年 10 月 11 日(火) 13:10-17:00 (受付開始 12:30)

○ 場 所：日本薬学会長井記念館 長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷 2-12-15)

○ 定 員：100 名程度/受付は事前登録のみ、当日申込はできません。定員になり次第受付終了

○ 参加費：会員 (個人・団体) 3,000 円、非会員 5,000 円、学生 1,000 円

※ 事前振込が必要です

※ 名刺交換会は実施しません

○ 申込み：7 月上旬開始予定。本学会 HP の「登録・お問合せ」画面よりお申し込ください。